

研究課題名	超高齢者における腹部緊急短期予後因子の短期予後因子の検討
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 消化器外科
研究責任者(職名)	哲翁 華子 (医師)
研究期間	承認日 ～ 2026 年 4 月 30 日
研究目的と意義	高齢の患者さんに対する緊急手術治療と予後の関連について検討します。予後に影響する因子を把握することで、超高齢社会において適切な医療提供を行うための一助となります。
研究内容	●対象となる患者さん
	85 歳以上の患者さんで、当院にて 2022 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に急性腹症と診断され緊急手術治療を受けた患者さん
	●利用する情報
	・ 患者背景：年齢、性別、併存疾患（Charlson Comorbidity Index）、既往歴、ADL（Barthel Index）、Clinical Frailty Scale（CFS）、modified Frailty Index-5（mFI-5） ・ 来院時情報：来院時間、バイタルサイン、抗生剤開始時間、画像検査時間、手術開始時間 ・ 併用薬：降圧剤、抗血栓薬、抗凝固薬、糖尿病薬、利尿薬、ステロイドの内服の有無 ・ 臨床検査：WBC, CRP, Alb, Cre, Lactate ・ 術中情報：手術術式、手術時間、出血量、ストーマ造設の有無、汚染度、手術侵襲度 ・ 術後情報：合併症（Clavien-Dindo 分類）、再手術、ICU 入室、在院日数、転帰、退院先 ・ 追跡情報：入院から 90 日間の転帰
	●研究方法
	上記の情報をカルテより収集し、下記について検討します。 ・ 入院後から 90 日間で在宅で過ごした日数、退院転帰、予後
問い合わせ先	所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所：長崎市新地町 6 番 3 9 号 電話：095（822）3251 （内線 3553） 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）